

令和元年度第1回大船渡市固定資産評価審査委員会会議記録

日 時 令和元年10月15日(火) 午後1時25分～午後2時25分
場 所 大船渡市役所応接室
出席委員 田村福子委員、金哲朗委員、鈴木信男委員
事務局 江刺総務課長 阿部課長補佐、石橋係長
評価担当課 安田税務課長、新沼係長

議事等内容

- 1 委員長の選任について
委員長に金哲朗委員を互選。
- 2 委員長職務代理者の指定について
金委員長が鈴木信男委員を指定。
- 3 審査申出の状況等について
 - ア 平成30年度固定資産審査申出の件数について
事務局（石橋係長）が審査申出件数を説明。
 - イ 令和元年度固定資産課税台帳の縦覧結果について
安田税務課長が縦覧結果を説明。

質疑

（鈴木委員） 審査申出について、陸前高田市や住田町の情報は入っているか。
（新沼係長） 税務課には情報が入ってきていない。

（鈴木委員） 縦覧者からは何か意見があるのか。
（新沼係長） 特に意見などはない。

（鈴木委員） 例えば新築した人が多いとか、縦覧者の内訳は。
（新沼係長） 1件1件内訳は把握していない。割合は多くないが毎年来られている方もいる。

（鈴木委員） 法人関係だと、どういったところがあるか。
（新沼係長） 水産加工会社などが数社。

（田村委員） 法人関係も毎年同じところがあるのか。
（新沼係長） 固定化しているわけではない。

(金委員長) 縦覧の目的として、評価そのものが高いという前提で来られるのか。
(新沼係長) 縦覧はそもそも、自分の資産と他の方が所有している資産の評価を比較できるという内容になっている。所有者名など個人の情報については伏せているが。ですので、自分の資産の評価と他の方が所有している資産の評価を比較しているのだと思う。

(鈴木委員) 償却資産を毎年同じくらいの方が見に来ているようだが、どのような方が見に来ているのか。申告課税だと思うのだが。

(新沼係長) おっしゃるとおり償却資産は申告した内容での課税になるので、申告したとおりに課税されているのかどうかを確認しているのだと思う。

4 その他

安田税務課長が別添資料固定資産税の状況（東日本大震災関連）を説明。

質疑

(鈴木委員) 事業拡大のための設備投資をした場合、条件に合えば2分の1免税とか、減免とかありますよね。それから、被災者の固定資産税の免除はいつまでか。今後、調定額が減るのか、増える予定なのか、推移をある程度見なければならぬと思うが、どのように見込んでいるか。

(税務課長) 被災箇所の減免については、毎年減免するかどうかを検討して決めるわけだが、令和2年度までは復興期間ということで対象になると思うが、令和3年度以降の国等の措置については未定である。

それから、法人関係の新しい事務所とか工場を建てる場合の復興関係の助成予算だが、市の企業立地港湾課が窓口となってやっているが、特に大船渡駅周辺で事務所を再建している方についてはかなり利用されているようである。減免期間が5年だったと思うが、5年経過すると固定資産税が通常どおり賦課される。早い時期に申請して、既に5年になるという事業所もある。5年が経過すると、通常どおり賦課されるので固定資産税は上がるが、事業所はその分大変になる。

(鈴木委員) 平成30年度の土地分の調定額が減ったのは何か原因があるのか。

(新沼係長) 3年に一度評価替えがあって、平成30年度が直近の評価替えの年であった。鑑定評価の価格が相対的に下がったことによって、トータルとして調定額が減少した。

(金委員長) 区画整理事業がそろそろ仮換地から本換地に移行になるのだが、来月末頃から始まって、2月いっぱいくらいでおそらく終了する。そうすると確定した面積が出るが、税金は仮換地の状態で掛けているのか。

(新沼係長) 仮換地で掛けている。

(金委員長) そうすると税収はあまり変わらないのか。

(新沼係長) そうです。来年度の課税に当たっては、今年中に登記が本換地の地番になる予定。

(金委員長) 地番は変わるけれども課税面積は変わらないということですね。

(鈴木委員) 端数が若干出てくるので、若干上がる所と下がる所が出てくる。

(鈴木委員) 大船渡市は、都市計画税を課税する予定はないのか。

(税務課長) そういう話が出ていない。

(田村委員) 税の収納状況はどうなっているか。

(税務課長) 平成30年度は前年度より収納率が少し下がった。収納率を上げることも大きな課題。